



すすんで学ぶ子  
心豊かな子  
たくましい子

# 中宮

令和6年4月30日  
第665号(5月号)  
枚方市立中宮小学校  
校長 西嶋 日美

## 薫風の5月 わくわくの校外学習

### ●学級懇談会・オンライン懇談、ありがとうございました

4月12日(金)に学級懇談会を行いました。昨年から引き続き、オンラインも併用するハイブリッド型でしたが、多くの方の御参加ありがとうございました。本年度の学年・学級の経営方針について担任の思いが伝えられたと思います。また1年生の保護者の皆様につきましては、タブレット端末の配布・説明があり、本格的な小学校生活のスタートとなりました。

4月22日(月)～4月26日(金)には、オンライン懇談を実施し、保護者のみなさまと対面でお話しすることで、子どもたちの様子を交流することができました。

5月25日(土)には、土曜授業と引き取り訓練の実施を行います。近年の気候変動に伴い非常変災害が生じやすくなっておりますので、学校・保護者間で十分なコミュニケーションを図り、安心安全な学校生活を過ごせるよう取り組んで参ります。

また、連休中日から校外学習も始まります。学校を出ての集団行動となります。それぞれの学年に応じた「めあて」を持って行いますので、お弁当など準備のご協力よろしくお願いいたします。

### ●家庭学習の充実を

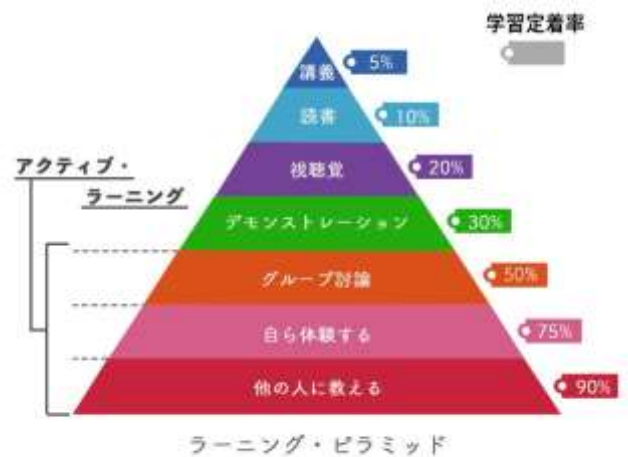
本校の課題の一つに、家庭学習の充実があります。毎日学校から提出される宿題は、それまでの学習を定着させることができます。本校では、家庭学習の目標時間を、学年×10+10分としています。(例えば、6年生なら6×10+10=70分となります。)そして、学級懇談会でもお話ししたように、目標を高学年の時期は「目標に向かって自分に合う方法や量、ペースを選んで自ら学ぶ力を身につけましょう」、中学年の時期は「様々な学び方に出会い、自分に合う方法や量を選択する力を身につけましょう」、そして低学年の時期は「家庭学習を通して、学校で学習したことや自分が学びたいことを学ぶ習慣を身につけましょう」とし、少しずつレベルアップしています。

ご家庭では「宿題が終わってから、遊びに行こう」「朝起きてから宿題に取り組む」など様々な習慣があると思います。どの方法でもいいので、自分に合った方法で学んだことをフィードバックし、自分のものにしていきましょう。本来「学ぶ」ことは、とても楽しいことです。自分の知らない知識を、自分だけのペースで学び、調べることのできる家庭学習をぜひ、楽しんで行ってほしいと思います。タブレット端末のドリル NAVIMA や調べ学習、読書、また中宮小学校では、自主学習ノートの取り組みも行っておりますので、学校通信でも取り上げていきます。(GWは、様々な家庭学習にチャレンジしてみてください。)

## ●効果的な学びとは…

右にあるのは「ラーニングピラミッド」と呼ばれている図で、学習法とその定着度を示したものです。この図からも分かる通り、見聞きした情報というのはなかなか定着し難く、実際に体験したり他の人に教えたりする活動が学習の定着には有効だと言われています。

しかし、普段の生活の中では一方的に情報を与えられてばかりで、なかなかそういう機会はありません。しかし……、安心して下さい。先生方は、授業の中に、学びに応じた仕掛けを行い、授業をデザインする工夫をしています。毎日の授業に積極的に参加すること、これが一番大切なことなのです。



## 時を守り、場を清め、礼を尽くす

おのれ ほっ ひと ほどこ  
己が欲せざることを人に施すことなかれ

この1年間、何度も言います。この大切な言葉。中宮小学校を卒業するころには、子どもたちが諳んじて言えるようになってほしいと思います。

一つは、昨年度から引き継いだ、「時間を守り、掃除を頑張り、挨拶をする」こと。この校訓が中宮小学校の清々しい空気を作っていると思います。伝統にしていきましょう。

私の大切にしている言葉の中で、もう一つ。「おのれがほっせざることをひとにほどこすことなかれ」があります。大阪風に言うのであれば「自分が嫌なことは、人にしたらあかんぞ」となります。論語の中の、孔子の言葉です。孔子の弟子が「人として生きていく上で一番大切なことを一つの言葉で言うとしたら、何でしょうか」と問うた時、孔子は「それは『恕(じょ)』という言葉だ」と答えました。『恕』という言葉の意味は、「思いやりの心」ということです。では、「思いやりの心」とは具体的にどんなことでしょうか。孔子は「恕」と答えた後、この言葉を発しています。(詳しく調べたい人は、「論語」読んでみてください!)

実は、この言葉は数年前まで5年生の国語の教科書に載っていました。当時、私が担任をしていたクラスの子どもの心にささったのでしょう。この言葉を知った子どもたちは、トラブルが起きた時、口々にこの言葉を発して、反省し合っていました。中には、トラブルがあった際「自分はされてもいいから、やったんだ」という猛者もいましたが、周りから「ちがうやろ。思いやりってことやろ」とたしなめられ、「おおっ」と納得していました。言霊を感じた一場面です。

ぜひ皆さんも、言葉の持つ意味について考えてほしいと思います。人間は、唯一言葉(文字)を持つ、生き物なのですから!